

公益財団法人 双日国際交流財団
平成 31 年度 事業計画

財団定款に則り、以下の助成事業及びその他の事業を行う。

当財団の主たる事業である助成事業については、学術研究助成、奨学金助成、国際交流助成に取り組むこととし、それぞれ下記の通りの重点を置いた助成を行っていく。

双日株式会社より 1,500 万円の寄付が見込めることにより、財団設立 30 周年を迎えた昨年引き続き各種事業の拡充を行う。

1. 助成事業

平成 30 年 11～12 月に公募し選考された下記助成事業等 44 案件に対し助成を行う。

助成事業予算額 総合計 4,049 万円

(1) 学術研究助成

海外の大学等高等教育・研究機関に対し、人文・社会科学分野の日本に関する研究、日本を含む比較研究等への助成を行う。

日米研究インスティテュートによる若手研究者育成事業 1 件

予算額 80 万円

(2) 奨学金助成

1) 財団奨学金制度の下、外国人私費留学生に対する奨学金給付事業を、昨年度奨学金対象校を 4 校増加し 20 指定大学としたが、今年度も継続して行う。

平成 30 年度で支給終了となる奨学生数を補充・選考して、計 20 名の外国人私費留学生に対し助成する。

2) 加えて、例年行っている国際大学の外国人私費留学生に対する奨学金制度への助成を引き続き行う。

予算額 2 件計 2,412 万円

(3) 国際交流助成

日本に対する理解の促進と日本ファンの醸成に繋がるような事業、特に将来ある若い人達が行う国際交流事業に重点を置いて、下記 4 分野、合計 41 件に対し助成する。

予算額計 1,557 万円

イ. 国際会議等

国際交流を目的とした国際会議等の開催及び参加に対し助成する。特に大学生等若者が参加する会議に重きを置く。

日米学生会議、日中学生会議、日韓学生フォーラム、日露学生会議他
計 16 件 予算額 計 570 万円

ロ. 国際交流

海外における日本理解の促進につながるような人物交流、文化交流に対する助成。この一環として、今年度も当財団の奨学生及び奨学生 OB に財団役職員も加えた奨学生交流会を計画。

CEPEX Japan Studies Award、日アジア介護・リハビリテーションプロジェクト、財団奨学生交流会 他
計 14 件 予算額計 664 万円

ハ. 日本文化紹介等

海外において日本の文化、伝統芸能等を紹介する公演、展示・実演等に対し助成する。

ジャパンウィーク、欧州特別能楽公演、音楽狂言ヨーロッパツアー 他
計 7 件 予算額計 180 万円

ニ. 日本語普及事業に対する助成

海外の教育機関等が行う日本語教育、日本語普及事業等に対し助成を行う。海外高校生による日本語スピーチコンテスト、パプアニューギニア ソグロ国立高校生徒の日本語短期研修・日本滞在プロジェクト他
計 4 件 予算額計 143 万円

2. その他の事業

上記、助成事業の他「その他の事業」として、下記 2 事業を行う。

予算額合計 170 万円

- (1) 情報誌「財団だより」第 16 号の発行 予算額 120 万円
- (2) 情報公開の促進と当財団から外部への情報発信及び外部との情報交換の為、財団ホームページの運営管理。 予算額 50 万円

以上